

アイラブ
唯子

～かたびらのじまんとほこり～



もくじ

はじめに	p.2
帷子について	p.3
どうして「帷子」なの?	p.4
帷子のおもなできごと	p.4~6
帷子マップ	p.7~8
薬王寺	p.9
帷子花火大会	p.10
帷子を支える人たち	p.11~13
帷子地区センター	p.14~16
おわりに	p.17

katabira 

はじめに



帷子自治連合会長 もり てるあき
森 輝秋

みなさんの住んでいる「帷子」は、可児市で最も人口の多いまちです。人口は約 2 万人・世帯数は約 8,600 世帯。小学校は 2 校（帷子小学校・南帷子小学校）、中学校も 2 校（広陵中学校・西可児中学校）、大学は岐阜医療科学大学があります。

みなさんの住んでいる自治会は 13 箇所あります。

- ①中切 ②古瀬 ③美濃田 ④菅刈 ⑤石原 ⑥茗荷 ⑦若葉台 ⑧長坂 ⑨鳩吹台
⑩緑 ⑪愛岐ヶ丘 ⑫光陽台 ⑬虹ヶ丘

あなたの住んでいる地区はどこでしょうか。まだまだ自分の住んでいるまちの「じまん」はいっぱいあります。この冊子を見て新しい「じまん」を探してください。そして、あなたが見つけた「じまん」と「ほこり」をお知らせください。



帷子地区センター長 たまおき こうじ
玉置 浩司

この冊子は「市制 40 周年」を記念して、みなさんに帷子地区のことをよく知ってもらうために作りました。

可児川の支流である石原川と菅刈川、中切川が流れ、鳩吹山のすそ野に広がる静かな帷子村（菅刈村・東帷子村・西帷子村が明治 22 年合併）は、川でしじみやうなぎが獲れて夏にはほたるが乱舞し、山では山菜が採れてキツネやタヌキに出会うことのある「ふるさと」そのものでした。この緑豊かな帷子の地も時代とともに都市化が進み、昭和 40 年代から交通の便に恵まれたこの地区で宅地開発が始まり、大きな団地が7つも出来て、金融機関やスーパーマーケットもできました。今では大学まで擁し、人口も最高時 23,000 人を超えるほど大きな地区になりました。これからの帷子地区、可児市を背負っている若い人達にも、新たに自慢できるものを作り出していてもらいたいと思います。

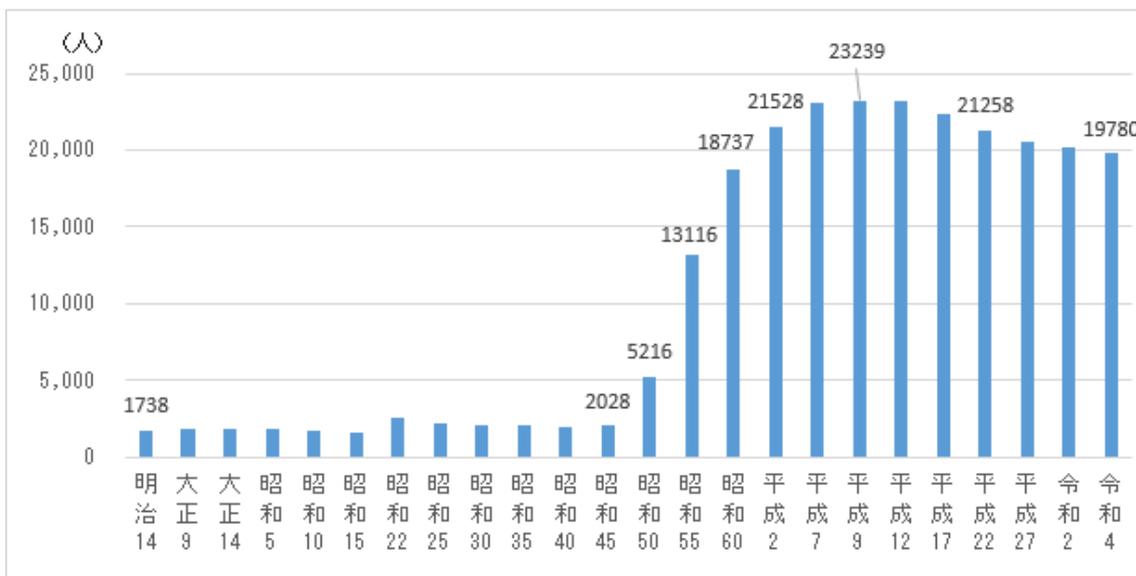
最後に、冊子発行に当たりご協力頂きました皆様には、お礼申し上げます。

帷子地区について

	帷子地区	可見市
人口	19,661人	100,608人
世帯数	8,636世帯	43,848世帯
面積	10.1 km ² (概算)	87.6 km ²

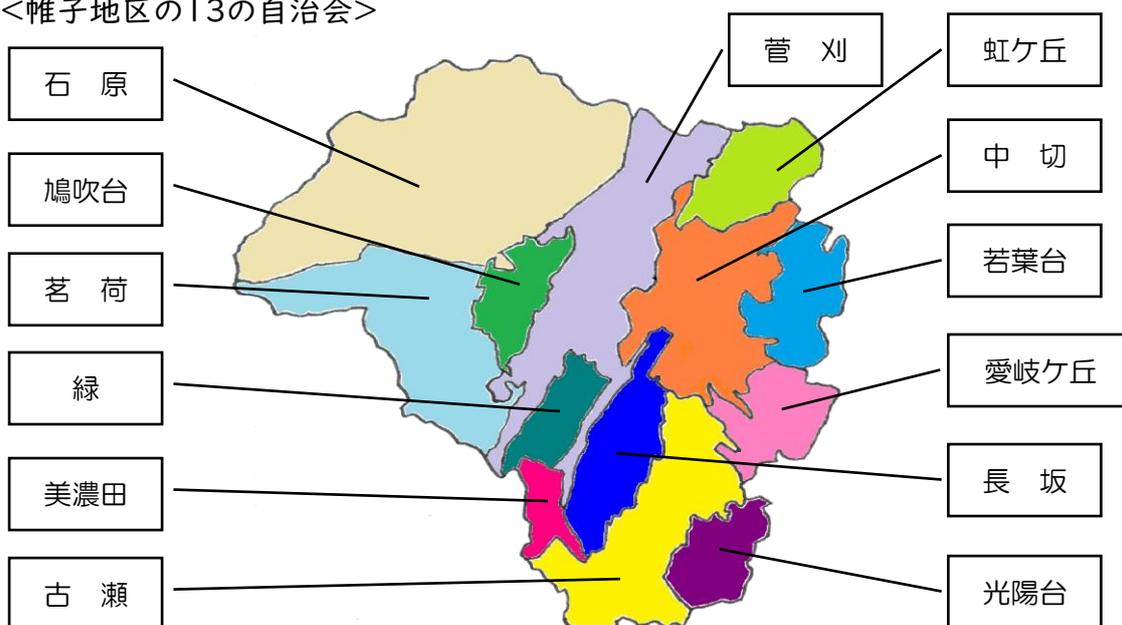
(人口・世帯数は令和5年1月1日時点)

<帷子地区の人口推移>



(出典:明治14年は可見町史、大正9年から昭和50年は国勢調査、昭和55年以降は可見市の統計)

<帷子地区の13の自治会>



どうして「帷子」なの？

「帷子」の地名の由来には、2つの説があるといわれています。

① 着物の「帷子」

昔、この地域の人々が麻あさをつむいで帷子じょうふ※のもととなる上布えら（麻布）をつくり、偉い人におさめていました。これにより、朝廷から「かたびら」という地名をもらいました。

※帷子は裏地のない1枚の着物のこと。装束をつけるときに汗取り（下着）として着たり、夏に身につける着物として用いられたんだ。

② 地形の「片平」

地形の片側が山、もう片側が田野の広がる平地であることをさす「かたひら」という呼び名が、徐々に変化して「かたびら」になりました。

帷子のおもなできごと

明治 22 年 7 月 帷子村が誕生（西帷子村・菅刈村・東帷子村が合併）

明治 24 年 10 月 濃尾地震が起こる

本巣郡根尾村を震源として起こった内陸直下型地震で、マグニチュードは8.0。当時の帷子地域でも総戸数372戸のうち247戸が全壊し、死者も出るなど大きな被害が出ました。阪神・淡路大震災（1995年）のマグニチュード7.2、関東大震災（1923年）の7.9と比べるといかに大きな地震だったのかがわかります。なお、古瀬の福田寺には、震災の記念碑が建てられています。

大正 14 年 4 月 名古屋鉄道（犬山口－今渡間）が開通

昭和 30 年 2 月 可児町が誕生
（広見町、今渡町、土田村、帷子村、春里村、久々利村、平牧村が合併）

昭和 32 年 4 月 石原で山火事が起こる

昭和 34 年 9 月 伊勢湾台風が起こる

昭和 44 年 3 月 西可児駅が誕生（愛岐・帷子・春里の3駅を統合）

昭和 45 年 3 月 名鉄広見線（犬山－広見間）が複線化

昭和 45 年 6 月 帷子公民館完成



昔はチャンバラやめんこ、缶けり、コマ回し、ゴム遊び、鬼ごっこなどをして遊んだもんじゃ。



中学校は可児の東と西に1校ずつしかなかったし、幼稚園も帷子には無かったね。だから、帷子からは今渡まで電車で通う子が多かったよ。



この頃の給食は確かそうざい1種類・パン・ミルク（脱脂粉乳）が多かったなあ。今みたいに給食センターではなく、学校ごとに作っていたんじゃ。

昭和 45 年 8 月 「若葉台」団地工事開始

昭和 46 年 10 月 「長坂」団地工事開始

昭和 47 年 10 月 「鳩吹台」団地工事開始

昭和 50 年 3 月 「緑」団地工事開始

昭和 51 年 4 月 かたびら幼稚園が開園

昭和 51 年 8 月 帷子小学校（新校舎）が完成

昭和 52 年 5 月 「愛岐ヶ丘」団地工事開始

昭和 54 年 4 月 西可児中学校が開校

昭和 54 年 5 月 鳩吹台で路線バス運行開始

昭和 55 年 4 月 南帷子小学校が開校（帷子小学校から分離）

昭和 56 年 1 月 愛岐ヶ丘で路線バス運行開始

昭和 56 年 4 月 かたびら第 2 幼稚園が開園

昭和 56 年 7 月 「光陽台」団地工事開始

昭和 57 年 4 月 可児市が誕生

若葉台・長坂・鳩吹台・緑・愛岐ヶ丘・光陽台の 6 つの団地ができ、帷子の人口は元の 10 倍の 2 万人になりました。このおかげもあって、可児町が市になるための条件である人口 5 万人を達成しました。

昭和 57 年 4 月 長坂で路線バス運行開始

昭和 58 年 4 月 帷子児童センターが開館

昭和 59 年 3 月 名鉄ショッピングセンター西可児店が開店

昭和 61 年 4 月 広陵中学校が開校

昭和 62 年 4 月 鳩吹山火災が起こる

この山林火災は 3 日間も燃え続け、消火活動には地元消防団のほか、美濃加茂市や御嵩町、兼山町、自衛隊もかけつけました。この火事で約 90 ヘクタール(バンテリンドーム ナゴヤ【旧:ナゴヤドーム】約 18 個分)の広さが焼けてしまいました。



団地がどんどんつくられた時代だね。帷子は山と田んぼばかりだったから、本当にこんなところに団地や家ができるのかな？と当時はみんな思っていたよ。



通勤で混雑する西可児駅（昭和 57 年）

この頃は帷子にスーパーマーケットはなかったから、便利になって嬉しかったなあ。



昭和 62 年 3 月 「虹ヶ丘」団地の工事開始

昭和 63 年 3 月 鳩吹台 - 緑の路線バス運行開始

平成元年 3 月 帷子公民館（現：帷子地区センター）が新築開館

平成元年 7 月 西可児土地区画整理事業がスタート

平成 5 年 10 月 図書館帷子分館が帷子公民館の一室に開館

平成 7 年 4 月 名城大学可児キャンパス（都市情報学部）が開校

平成 7 年 9 月 西可児駅前郵便局が現在の場所に移転新設

平成 8 年 4 月 バロー西可児店がオープン

平成 8 年 11 月 可児やすらぎの森が開園

平成 8 年 12 月 西可児大橋が完成

平成 10 年 4 月 光陽台で路線バス運行開始

平成 11 年 4 月 図書館帷子分館新館が開館

平成 13 年 3 月 西可児土地区画整理事業が完了

平成 17 年 5 月 新可児市が誕生（可児市と兼山町が合併）

平成 29 年 4 月 名城大学可児キャンパス（都市情報学部）が可児市から移転

平成 30 年 4 月 「帷子公民館」から「帷子地区センター」になる

平成 31 年 4 月 岐阜医療科学大学可児キャンパス（看護学部・助産学専攻科）が開校

令和 2 年 4 月 岐阜医療科学大学可児キャンパスに薬学部が開設

令和 4 年 4 月 可児市 市制施行 40 周年



地区センターで春にみられる淡墨桜は、この時に有限会社根尾開発という企業がくれたものなんだよ。



虹ヶ丘の住宅団地（平成 2 年）



やすらぎの森は森林を活かした公園をつくりたいという願いから生まれた公園じゃ。自然がいっぱいで散歩コースとしても最適なんじゃよ。

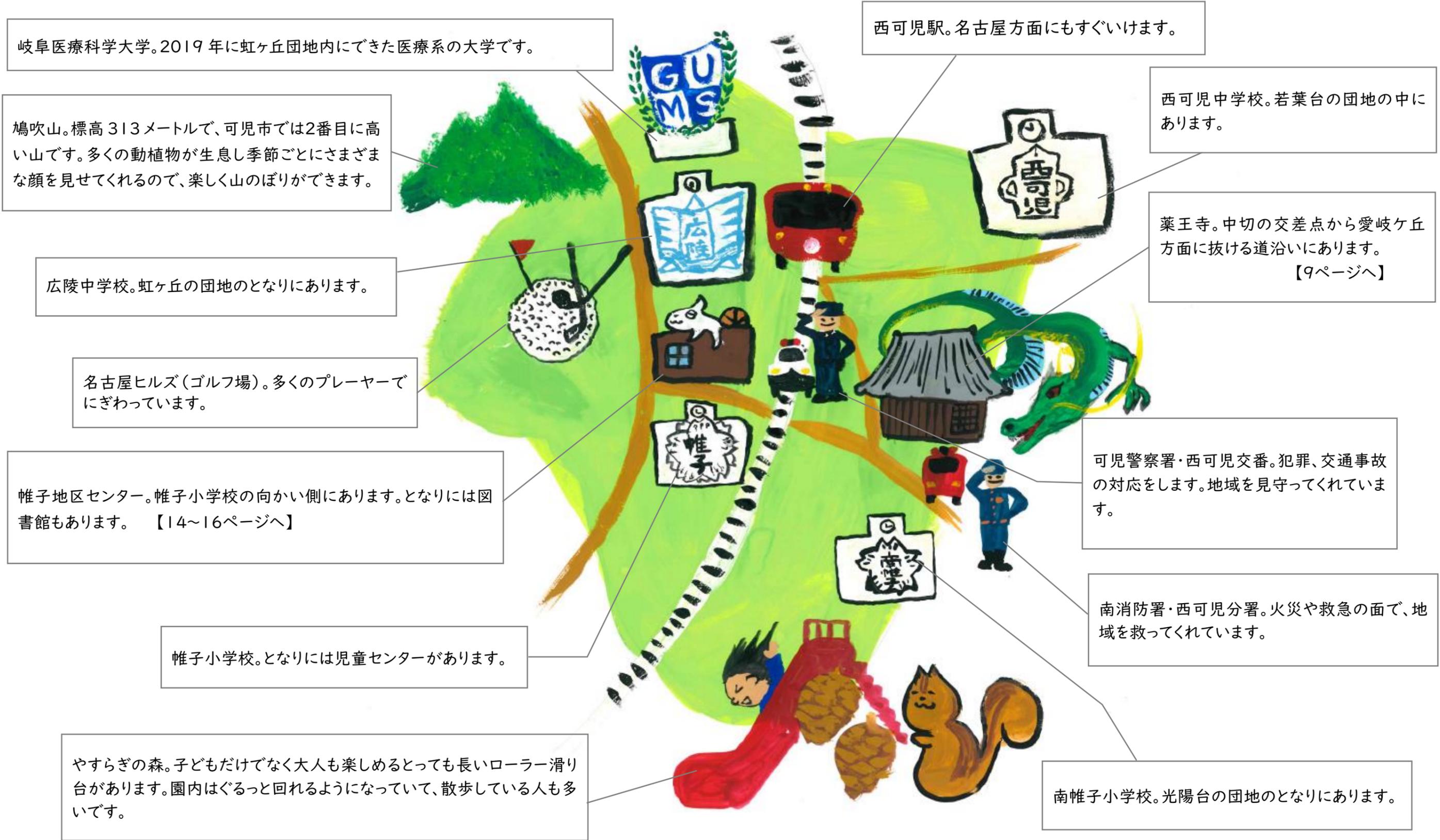


西可児大橋 開通セレモニー（平成 8 年）

岐阜医療科学大学は名城大学の跡地にできたんだよ。



帷子には、こんな施設やスポットがあります！！



岐阜医療科学大学。2019年に虹ヶ丘団地内にできた医療系の大学です。

鳩吹山。標高313メートルで、可児市では2番目に高い山です。多くの動植物が生息し季節ごとにさまざまな顔を見せてくれるので、楽しく山のぼりができます。

広陵中学校。虹ヶ丘の団地のとなりにあります。

名古屋ヒルズ(ゴルフ場)。多くのプレーヤーでにぎわっています。

帷子地区センター。帷子小学校の向かい側にあります。となりにには図書館もあります。【14~16ページへ】

帷子小学校。となりにには児童センターがあります。

やすらぎの森。子どもだけでなく大人も楽しめるとっても長いローラー滑り台があります。園内はぐるっと回れるようになっていて、散歩している人も多いです。

西可児駅。名古屋方面にもすぐいけます。

西可児中学校。若葉台の団地の中にあります。

薬王寺。中切の交差点から愛岐ヶ丘方面に抜ける道沿いにあります。【9ページへ】

可児警察署・西可児交番。犯罪、交通事故の対応をします。地域を見守ってくれています。

南消防署・西可児分署。火災や救急の面で、地域を救ってくれています。

南帷子小学校。光陽台の団地のとなりにあります。

やくおうじ 薬王寺

薬王寺のお堂には、文化財に指定された仏像や彫刻がたくさんあります。その中でも一番大きな仏像は高さが約2.7mもある薬師如薬坐像です（堂内の仏像は通常非公開となっています）。

薬王寺の「薬王」とは薬の王様という意味で、あらゆる病気や悩みをいやす薬師如来の別名です。今から約1000年前の平安時代のもので、1本の木を削ってつくられました。また、のき先には2匹の竜の彫刻があり、生きていますかのよう動いたという伝説もあります。

薬王寺には遊歩道もあって、春から夏にかけてはサイコクヒメコウホネや大賀ハスといった植物を見ながら散策を楽しめます。



大賀ハス



サイコクヒメコウホネ



薬師如来坐像

薬王寺の上り竜と下り竜

～『可児のむかし話』より～



むかし、むかし。帷子ちゅうところであったことや。毎日、毎日、ひでりがつついて、田んぼも、畑も、そろも、からからにほしあがってしまったんやと。そんなもんで村の人は、こまっしてもうて、くる日も、くる日も、薬師堂にこもって、雨ごいのおいのりをしたそうじゃ。

ある日のこっちゃった。ひとりの年寄りかな、おいのりにくたびれてまって、お堂から出て、薬師堂の階段に腰をおろしたげな。なにげなく、頭の上を見あげて、高粱に彫られた竜を見とった。

「さすが名人といわれた林市衛門と玉置吉兵衛が作ったものだけあるのう。みごとなもんじゃ。」

と、みとれておると、下り竜の舌がぺろぺろと動いたのやと。びっくりして立ち上がると、こんどは上り竜の尾がびりびりと動きよった。そんで思わず、

「竜よ、心あるなら聞いとくれ。この村にはな、もう一か月も雨が降らんや。なんもかも、すっかり枯れてしまいう。奥の池も干上がってしまうた。おれんた百姓が、いちばんこまっするんじゃ。お前がほんとうに水をよぶことができるんなら、一雨恵んでくだされよ。」

と、いっしんに手を合わせんさったと。そのとき、ふしぎなことがおこったんや。にわかにかくも黒雲がひろがってな、稲妻が光り、雷がなり、ものすごい雨が降りだしたんじゃ。降って降って、降りつづいたちゅうこっちゃ。

あんまり降りつづいたもんで、こんどは大水がでよって、あぶななってきた。そこでその年寄りは、また、薬師堂へいって、

「いくら雨がほしいたって、池があふれ、堤が切れてしまつては、もともこもないわな。」

と、えらい怒ってなも、いなづまの光る空に向って、弓で矢を放ったんじゃ。そうすると、たちまち、雷鳴はおさまって、西の方から明るうなってきたんや。そして、水のひいた田んぼや、畑はだんだん、生き生きしてきたそうや。

村のしゅうはよろこんで、薬師堂にお礼にござったわな。そして、ふと高粱の竜を見上げるとな、ふしぎなことに、下り竜の片目がつぶれとつちゅうことや。





帷子花火大会

2010年から毎年秋(11月の第1土曜日)に行われている、帷子地区の花火大会です。地元の有志で帷子花火実行委員会を設立し、帷子自治連合会をはじめとした地元の団体や市民のみなさんのご協力・寄付をもとに準備や運営を行っています。出店やステージ出演も毎回市内の人・団体のみに限定され、地域に根差したイベントとなっています。また、帷子花火キャラバン隊として、帷子・春里の地元自治会まつりで花火大会のPRをしたり、まつりを盛り上げたりもしています。

花火大会当日には西可見駅周辺は歩行者天国となり、楽しいミニゲームやおいしい屋台、ダンスや楽器のパフォーマンスで盛り上がります。そして、この大会のフィナーレを飾るのは寒空に打ちあがる大きな花火です。冷たい空気に際立つ花火は夏とは違った美しさがあります。



帷子を支える人たち



✓ かたびらちいきほうかつしえん 帷子地域包括支援センター

高齢の方が安心して家で生活できるよう、困りごとの相談にのります。例えば、足が弱ったので転ばないように手すりを付けたい、買い物に行けないなどです。なるべく長く元気に家で過ごせるよう、健康に関する教室なども行っています。帷子地区は高齢者が多い地域ですが、優しい人が多い印象で、お互いに助け合って生活されています。各団地や地域ごとの助け合い活動も活発です。

相談を受けたことでありがとうございますと感謝されたり、相談者が元気に過ごせるようになると嬉しいです。お年寄りの方の話を聞いて勉強になることもたくさんあります。



地域包括支援センターのみなさん(帷子)

✓ かたびらちくしゃかいふくしきょうぎかい 帷子地区社会福祉協議会

暮らしの中にある困りごとに対して、そこで暮らす人々の「つながり」を活かしながら取り組む住民主体の団体です。

帷子地区では、平成23年10月から「高齢者送迎サービス」を実施しています。自力で外出するのが難しい高齢者を対象に、ボランティアが自家用車を使って自宅から目的地までの送迎を行い、外出をお手伝いする活動です。他にもボランティアや福祉に関する講座も開催しています。

帷子地区には「自分の住んでいる地域を良くしていこう」という気持ちのある方が多く、ボランティアのみなさんも協力的です。ボランティア活動は「人のため」と思っていたことがいつしか「自分のため」になっていることも多く、ボランティア自身も元気になれます。



高齢者送迎サービスの様子

✓ みんせいいいんじどういいん 民生委員・児童委員(帷子・南帷子)

地域の人からの生活のさまざまな相談への対応、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、障がい者世帯などのお宅への訪問、見守り、市役所などが行うサービスへの協力など、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを目指した活動をしています。

民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手。訪問先でお会いした方に「元気が出た」と言ってもらえたり、笑顔が見られたりした時はこの活動をしていて良かったと思います。



見守り訪問の様子

✓ 帷子地区青少年育成推進員

自治会や警察、学校、PTAと連携しながら、青少年の健全な育成や社会参加を支援しています。駅やショッピングセンターなどで、ごみ拾いなどの環境活動と地域の巡回・補導活動を行い犯罪や非行を防いだり、たより等で家庭に向けてネット犯罪の啓発や親子間のコミュニケーションのコツなどについて広報したりしています。

地域の一員として、そして地域のために活動することで清々しい気持ちになれます。



環境浄化活動(ごみ拾い)の様子

✓ 交通安全協会帷子支部

小学生のみなさんの朝の登校時間に見守りを行ったり、交通安全の呼びかけ、イベントの際の交通サポートや誘導などしています。危険な場所へのカーブミラー・看板の設置や点検も行っています。

こういった活動が交通事故を防ぎ、地域の皆さんの安全を守ることにつながるのでやりがいを感じます。見守り活動の時に元気にあいさつしてもらえるのも嬉しいですね。

みなさんも交通安全には気を付けてくださいね。



カーブミラー点検の様子

✓ 帷子地域防犯パトロール隊

地元有志のボランティアが、青色の回転灯が装備された車(青パト)に乗って地域の見守り活動を行っています。小学生の下校時間に通学路などをパトロールすることで地域の異変にいち早く気づき、犯罪や事故を未然に防ぎます。

また、夕方から夜の時間にもパトロールを実施しており、地域のみなさんの安心・安全を守っています。

青色の回転灯がついた車とボランティアの方が着ているジャケットが目印です。



青パトの展示の様子(帷子センターまつりにて)

✓ 帷子地区地域安全指導員

月に2回程度、夕方に青パトに乗って地域をパトロールしています。不審者や空き巣などの情報を受けてその付近を重点的に見回ることもあり、何かあれば通報するなど警察とも連携を取りながら活動をしています。

また、放置自転車の撤去作業や行事・イベントでの見守りや誘導、振り込め詐欺防止を呼び掛けるチラシの配布などもしており、地域の人と接する機会も多いです。緑色の帽子とジャケットが目印です。



ショッピングセンターでの啓発活動の様子

✓ 帷子地区体育振興会

グラウンドゴルフ大会やドッジボール大会などのスポーツイベントやセンターまつりなどの地区センター主催の行事に参加して、運営の補助をしています。

大会・イベントがスムーズに進むよう、前日準備や審判講習会なども行っています。



ドッジボール大会前の準備運動の様子

✓ 消防団(第3分団第3部・第4部)

普段は会社員や自営業など自分の仕事をしているみなさんが、火災など災害が起こった時には消防車で駆けつけて、消防署と連携しながら消火活動を行っています。その他にも地域の防災訓練などで消火器の使い方や応急処置の方法を指導したり、年末年始には火事がないように見回りをしたりしています。



操法大会の様子

✓ 帷子自治連合会

帷子地区にある自治会が集まった組織です。それぞれの自治会への連絡調整や、帷子地区全体の住民福祉の向上や地域の発展のために活動しています。

✓ 各地域の自治会

自分たちが住む団地や地域ごとに作られた組織です。帷子地区では13の自治会があります。防災訓練や、夏祭り、地域の清掃、ゴミ集積場の管理、高齢者や子どもの見守り、会報紙の回覧など、自分たちの地域を住みやすくするためのことに、住民同士が協力して取り組んでいます。

帷子地区センター

図書館

地区センター



建物はいつからあるの？

平成元年2月28日に完成しました。



中には何があるの？

じむしょ れんらくじょ ちいきほうかつしえん ちくしゃかいふくしきょうぎかい
事務所（連絡所・地域包括支援センター・地区社会福祉協議会）のほかに、
かいぎしつ わしつ ちょうりじっしゅうしつ
会議室、和室、調理実習室、音楽室、体育室などがあります。 **P.15**



どんなことができるの？

こんなことができます。

- ・市役所のてつづ手続き（住民票などのしょうめいしょ証明書の発行、はっこう引っ越し、けっこん結婚、ほけん保険など）
- ・かいぎしつ部屋（会議室・音楽室・体育室など）の利用
- ・こうざ講座やセンターまつり、スポーツイベントなどへの参加 **P.16**
- ・地区センターで活動するサークル・団体への参加
- ・かいご介護やふくし福祉サービスについてのそうだん相談など【地域包括支援センター】
- ・そうげい送迎ボランティアの利用など【地区社会福祉協議会】

地区センターのとなりに図書館もあるので、本を読んだり借りたりもできます。



1年でどれくらいの人が利用するの？

年間およそ5～6万人が利用しています。



その他にも…

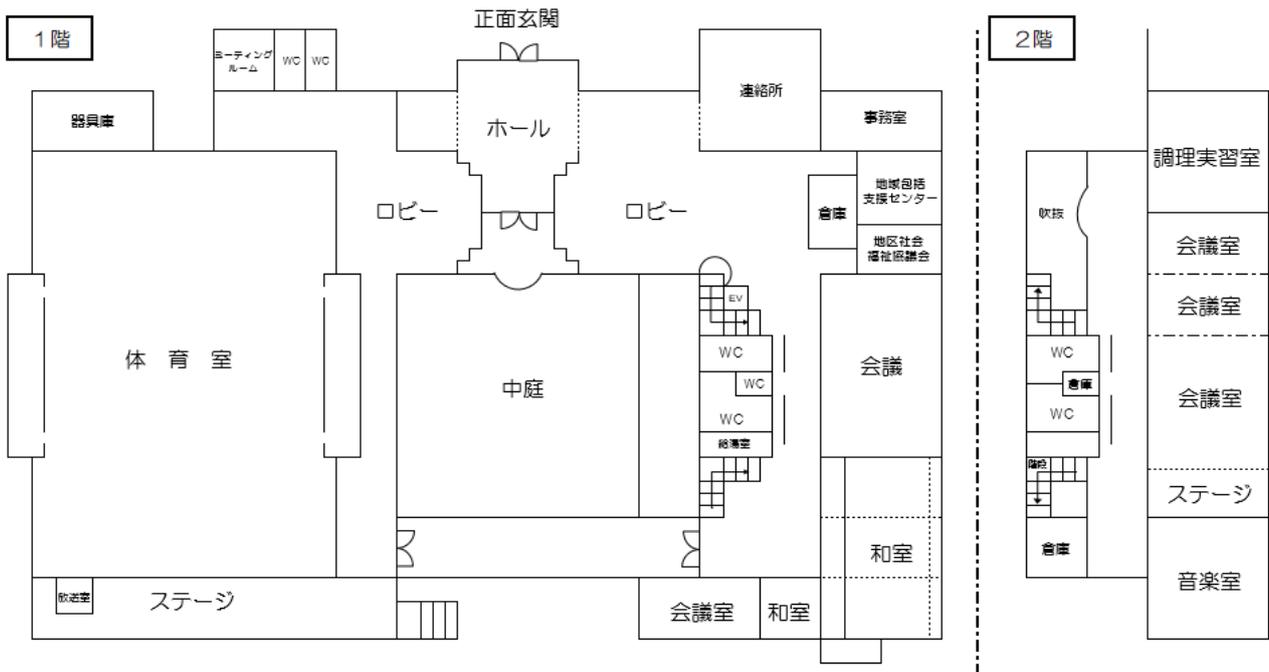
- ・じしん地震やたいふう台風などのさいがい災害が起こった時はひなんじょ避難所になります。
- ・年に10回、ヤギさんがじょそう除草作業に来ます。ヤギさんたい除草隊が来るのは、可児市では帷子地区センターだけです。

地区センターの中には何があるの？



バスケット・バレー
もできるよ

みんなで料理しよう



ステージ発表
もできるよ

会議以外でも
いろいろ使える



たたみ 45畳も
あるよ

防音。歌も楽器
もそれ以外で
もOK



地区センターのおもな行事・イベント



帷子センターまつり



ヤギさんの除草隊



ドライブインシアター



小学生施設見学



講座(親子パン教室)



講座(帷子キャンパス)



ドッジボール大会



グラウンドゴルフ大会

おわりに

この冊子は可児市制 40 周年を記念し、帷子地域の皆さんに帷子の良さや魅力に改めて気づき、知ってもらいたいという思いから作成しました。

今回掲載したものの他にも、帷子にはまだまだたくさんのじまんやほこりがあふれています。この冊子がそれらを見つける一助になればうれしいです。

最後に、冊子を刊行するにあたり、協力いただいた皆さまには厚く御礼申し上げます。

【参 考】

「帷子～濃尾大震災から百年～」

「可児市近・現代年表～『可児市史』第三巻 通史編 近・現代」

「可児のむかし話」



I LOVE 帷子 ～かたびらのじまんとほこり～

発 行 日 令和5年3月31日

発行・編集 帷子自治連合会

帷子地区センター

印 刷 株式会社CUBE

Thank you
for reading!

